

令和 8 年 9 月 10 日

総 務 大 臣 殿

福岡県八女市黒木町今 1314-1
一般財団法人 FM八女
理事長 櫛川 龍也

放送番組審議会議事録の提出について

標記について、放送法施行令第 8 条第 1 項第 3 号の規定により、下記の書類を添えて提出します。

記

番組審議会議事録（第 86 回 令和 8 年 8 月 27 日開催） 1 部

以上

第86回 FM八女番組審議委員会 議事録

- 1 開催日 令和8年8月27(木) 16:00
- 2 開催場所 FM八女 会議室
- 3 出席者 出席者総数 8名
委員総数 7名
出席委員 6名 青木歳男 酒井裕樹 中村元紀
小森大作 川床祐子 東千紘
レポート提出委員 1名 白鳥隆之
放送事業者側出席者 2名 小井手悦明、木下晴菜
- 4 議題 「YUNAのラジオ体験(夏休み特別企画やめちゃんのラジオ体験)」
令和8年8月3日 月曜日 13:00~14:00
- 5 議事の概要 CDに収録し、資料とともに各委員へ届けた上で、
上記の番組について、モニター後の感想を全委員に述べていただいた。
- 6 番組内容 夏休み期間中に学生が1時間の生放送にチャレンジし、ラジオの魅力や伝える
楽しさを体験する番組

7 審議内容

■ 番組企画について

- ・高校生の出演ということで、学校生活を含めた高校生活がテーマとなって興味深く、また、若い世代の声を聴くことができ非常に良かった。
- ・体験者が出演することになったきっかけや動機がもう少し聞けた方が良かった。
- ・企画の目的や背景を伝えると、より分かりやすいのではないか。

■ 番組内容について

- ・全体的にはのぼのとして、楽しく聴けた。
- ・同校の卒業生にとって懐かしく感じられる内容だった。
- ・体験者の曲振りの際に、どんな曲か一言説明を付け足すと更に良かったと思う。
- ・パーソナリティが上手に体験者の緊張をほぐして、話を引き出していたと思う。
- ・体験者にリスナーメッセージを読んでもらう際、一部に読み間違い等があったことから、ルビを振ったり事前にスタッフ側にて読み方を説明したりした方が良いと思う。

- ・体験者が八女の情報にあまり詳しくないような会話もあったので、自己紹介で出身・居住地区などの説明もあるとリスナー側でも事情が分かりやすい。（八女出身・居住を前提にイメージしてしまう）
- ・一方、八女地域では有名なお茶スポットを知らなかったことに対して、生放送の中でも気軽に尋ねられる雰囲気は良いと思う。また、その店を知らなかった方も、一緒に情報を知ることができて良い。
- ・学食の話題で、昔と比べて随分とメニューが変わったことを知り、現在の様子が知れて面白かった。また、文化祭や体育祭などの行事についてもどんな感じなのか知りたくなった。
- ・体験者とパーソナリティが高校の先輩・後輩という関係もあって、話の内容が身内的なお喋りに終始した感も否めなかった。
- ・現役高校生の素の喋りが垣間見えた感じがして、親目線でも聞かせてもらい、若い世代がどういった話題や音楽に興味を持っているのかなど娘を持つ親としても参考になった。

■ 今後の取組みについて

- ・高校生など若い世代の参加に加え、さまざまな年代の方にも出演してもらっても良いのではないかな。
- ・ラジオ体験は体験者・パーソナリティの双方にとって良い経験になると思うので継続して欲しい。
- ・通常、ゲストのラジオ出演はイベント・行事の告知やグルメ店舗、仕事等の紹介が多いと感じるが、今回、高校生活をテーマとしたように個人の日常や生活面に着目したテーマも取り上げた番組制作も検討してもらいたい。

■ 総括

- ・普段ではFM八女への出演が少ない若い世代の声を取り入れた企画として評価された。
- ・幅広い世代の声を届ける番組づくりを続けてほしいとの意見があった。
- ・体験とは言え、高校生が1時間番組のパーソナリティを務めること、またそれを放送することは凄いと感心された。
- ・ラジオ出演を職場体験の一環として企画・放送することについて興味深く受け止められた。

8 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法 自社ホームページへ掲載

9 次回の番組審議委員会

日時 令和8年10月22日（木） 16：00

場所 FM八女会議室（八女市役所黒木支所2階）

社名	一般財団法人 FM八女
----	-------------